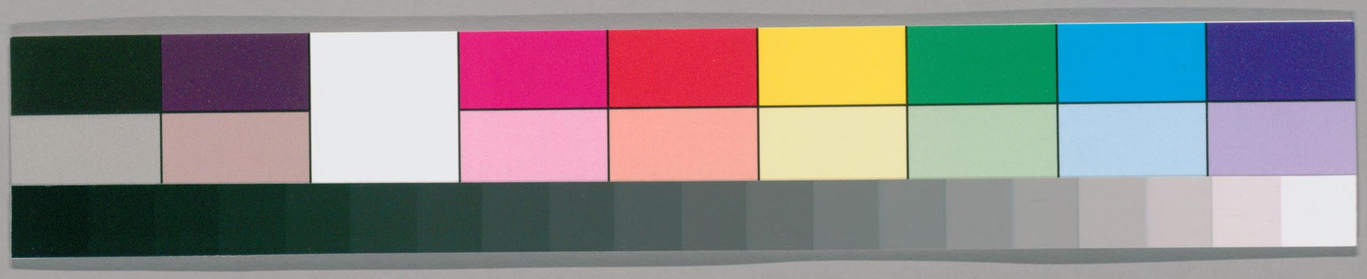
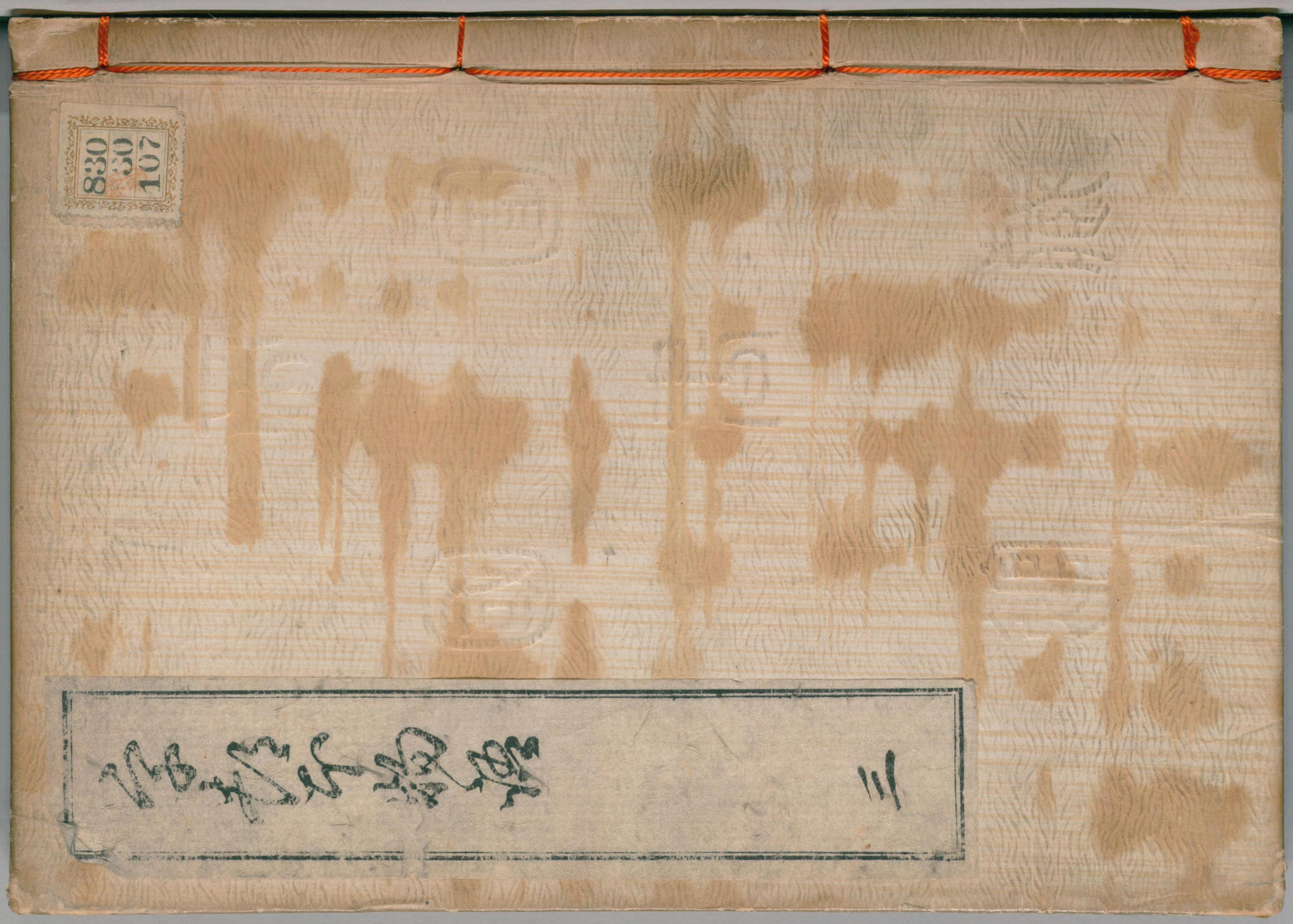


ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

うつほ物語

藤原の君

二

古本二の巻

今校本七の巻

830
107

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

流布本十一
藤原の君男二全 白二
紺二兼
陽一垂

大正
4. 7. 20
購求

源氏ニテ藤原君トイフハ梅花笠ノ事ニ左大将ノオト源氏ヲオンニセト母ハ藤原氏ナリトアルニテノ思フヘシ又ハテ吉ヘハ親ヨタケノ御名御母カ御乳母ナトノ氏ヨモテソケヨスカリ

太政大臣田中本良正ノ父トセハ振すう千蔭ノ右大臣ノ御父ナリヘ

藤原君

梅花笠ニテケモ

政頼

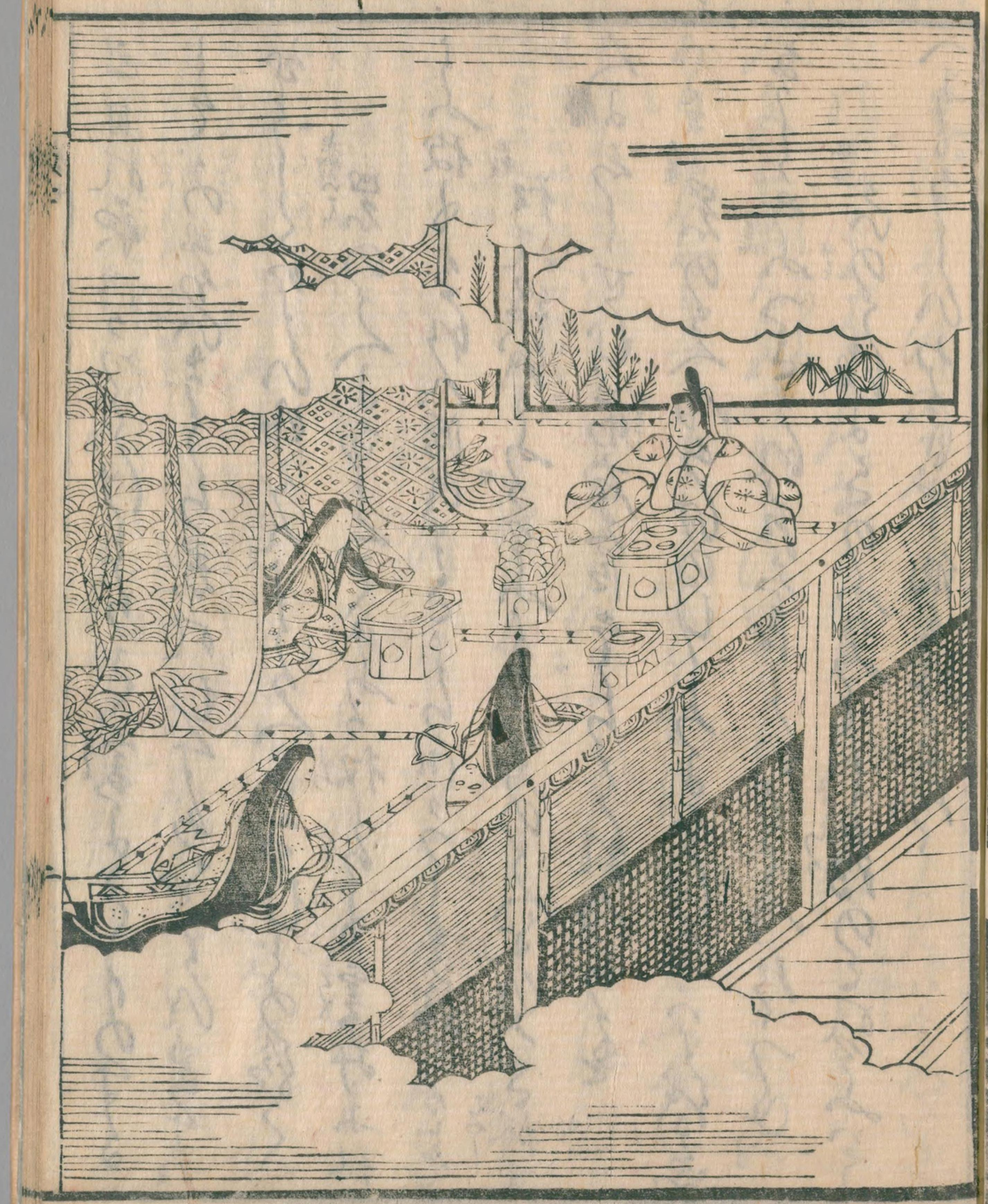
皆結

世界

千景ノ右大臣ノ兄弟ヘ

朱雀院

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用



こゝろ。こゝろ乱そ。ひかう
の給ふこと。正親
ゐ。ゆめ〳〵人ゐう。我ひ
むすめ
こゝろの給ふく。ひこゝろ
廿一
ウ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

伊勢集
イハウ（ヨスミカニシタルアシタツハチヨヨノトカニオモフヘキカハ
六帖ノ女ヨノトカニモオモフヘキカナ トヤリ

ウツルハユツルト同音
相通ナルヘシ万葉十一
鳥玉ノ夜渡月之場
移去者トカルモウツリナハミノ同音相
通ナリ

本家
由梅本家ニ今ハ
二ノ字ナシ

上ノ字ハ身屋ヲサシテモ有ヘケレトモ此ハ親ノ家ヲサシテ云ヘシ

伊勢集

イハンウヘヨミカニシタルアシタツハチヨヨイトカニモフヘキカハ六帖イセ世ヲイトカニモオモフヘキカナ トリ

ウツルハユツルト同音相通ナルヘシ万葉十二鴨玉ノ夜渡月之場移去者トカルモウツリナハミテノ同音相通ナリ

三日の夜になりぬるけしきもいとおもしろくて、家よりとくとくと、

千景又

君のみやかくもあるらんあきの夜の月のひかりの待ちもこそすれ

差替ハヘシ

正頼

秋の夜の月のひかりをまちいでてかへるかたにはなほぞ恋しき

千景

君のみやかくもあるらんあきの夜の月のひかりの待ちもこそすれ

忠恒

あかなくにかげかくしつる山の端をうらみてのみもかへるかな

凡賀

行忠

ありあけのつれなくみえし別れより暁ばかり憂きものはなし

凡賀

修理職

ありあけのつれなくみえし別れより暁ばかり憂きものはなし

本家ハ文字のあくにてうたれ本ともに家とさだまれハ一字上にて八身屋などにて数家数戸のごとくにて本宅などにてよし

妻室の上よりて八親の家をさしてよし

四位従三位ノ事ハ前ニ出タリ

参使三五才女のそひてくる事ハ前ニ出タリ

初秋上花ヲ人のもとへ八かけのいろ〳〵をハかけのごとくにてそへてやるなり

ものせしころ母君の御ものむかへにとて車をこせたりしかハ

俊忠ナツカシケノ尾

殿町

三日ばかりありてうけとりて、
そのおもむきをとひまゐらす。
千景又
みるのこよなくおもひなんとする
差越候へ
ほどもなく、源氏まゐりたまへり。
正頼
おほいどの
おほきおとど
おほきおとど
おほきおとど

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

のれうへ八の郎君尊淑乃御あ
尊敬乃うへ乃ふりの太郎純すこ年廿六ニ
ぢうちうすこ侍従仲純ニ乃ふみ廿五才
郎君武尹のせう殿ニ人ニそよ清純
尊十郎君乃ふみのせう尊人ニ義人
御ちうニ十一郎ニ(ロキノハトアリレイラン)せん左市北三ちの名乃御ニ
とありし羊歳落タレ
いうニハはせうニの今乃みり
大君仁寿殿
結ちり。ゆくこ女三人。七ノ
一の女御年廿一ニ天井尻のれ
らうニ乃中ニされ玄。乃
れニ尊尻乃天井乃ふりニ
尊十七。ニ尊尻尻殿ニ人
ぢうニ尊乃ふりの尊十二ニ
尊尻尻殿ニ人ニ七の尊尻
尻殿ニ乃次(の二郎ニ)
十ニ。いうニれ男ちニ九の尊あ
十二。十九ニニらニ年十一天井
十。十二の九。ニ尊ニ九ノれつニ
十ニの玄げニそ。それ(ヨナシ)ニ
れつニちニくの地ニ女地ニ
めぐニちニ

十九。それ尊右大臣殿乃次郎君
ニちりのニニれニ男ちニ九の尊あ
十ニ。いうニれ男ちニ九の尊あ
尊ニちニ武部仁宮乃御方乃御
尊乃ふみのちニれ尊郎君の中将源の
ニちりのニニれニ男ちニ九の尊あ
十ニ。いうニれ男ちニ九の尊あ
十二。十九ニニらニ年十一天井
十。十二の九。ニ尊ニ九ノれつニ
十ニの玄げニそ。それ(ヨナシ)ニ
れつニちニくの地ニ女地ニ
めぐニちニ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

のれうへ八め殿芸澄乃御あ
[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]すこ年廿
太郎 純
ゑ[illegible]ちすこ[illegible]ゆあ一年、へ
侍従 仲 純 世五才
殿武アのせ[illegible]殿と人[illegible]そよ[illegible]
丞 清 純
ゑ十殿芸来のせう芸義人う
御そう[illegible]十一殿ら[illegible]ゐ[illegible]
(ロヲイハトカテレナラン) (せんぬ帝のいろ女イ今々)
芋載落タル
(芋六さの十二殿ゆき[illegible]
大君 仁寺職 (廿一御兄と云意) 朱雀院
給そう。ゆこと[illegible]人。女三人。七人の
一の女御年廿一。大弁宰相のれうの
らうう[illegible]乃中将[illegible]され[illegible]
[illegible]れ[illegible]乃[illegible]
[illegible]れ[illegible]芸の大弁乃[illegible]
季明 頭 実正
ゑ[illegible]お芸[illegible]のこと年

(藤宇加)

十九。それ芸右大臣殿乃次殿
季明
[illegible]そ[illegible]りのこと[illegible]
実 頼 式部卿宮 (ヨ)
[illegible]芸[illegible]乃中[illegible]され[illegible]
忠正
[illegible]ゑ[illegible]ゆ[illegible]
(の次の二殿ニ)
[illegible]ゑ[illegible]ゆ[illegible]
忠正
[illegible]ゑ[illegible]ゆ[illegible]
清正
[illegible]ゑ[illegible]ゆ[illegible]
忠正
[illegible]ゑ[illegible]ゆ[illegible]
(ヨ八のヨつ十三イ) (八のえ七ことゑ年十三九の条あてムコヒ)
十。[illegible]ゆこれ男[illegible]芸の芸あ
(八のヨつ十三イ) (八のえ七ことゑ年十三九の条あてムコヒ)
十二。十[illegible]ゑ[illegible]ゆこと[illegible]ゑ十一
十。十二の九。ゑ[illegible]ゆこと[illegible]ゑ[illegible]ゆ[illegible]
十。の芸げゑ[illegible]ゆ[illegible]
[illegible]れ[illegible]ゆ[illegible]
[illegible]ゑ[illegible]ゆ[illegible]
[illegible]ゑ[illegible]ゆ[illegible]
[illegible]ゑ

ひつまづく

女子六條之先有長屋

立聞

腹

町

長屋

仁寿殿

正頼

出居

廂

曹司

御倉町

御厨

政所

梅枝 明石中宮十二ノ時 源氏四十歳ノ春ノ事ヲ書ケリ

オホキサイ大后ノ御事ヲ仁寿殿ノ本妻ト云ヒ又イカナル故本ニ左大臣トアルニヤ

ひつまづく

ありさまなり。我よ(世八)りおとゝ(子)ん。我こゝ(ここ)にありとつげ(告)しらせ(知)ば。
のゝ(の)度をとゝ(腹一)のひ(ひ)ゝ(ひ)をいやまし(町)ら一よ(よ)もそ(そ)ひ(ひ)なく(く)
ゐ(い)ま(ま)すの(の)ぞ(ぞ)。十一きん(ん)のおとゝ(長屋)
給(たま)ふ(ふ)おほ(ほ)ん(ん)のいはく(く)。三
てう(う)。ものゝ(の)ふ(ふ)ぜい(い)ぬ(ぬ)し(し)。廿(廿)
ゐ(い)ま(ま)すをまつ(つ)うて(て)父母(ふぼ)
てんめ(め)ん(ん)おの(の)ゝ(ゝ)く(く)。ものゝ(の)
うへ(へ)の若君(わかぎみ)さま(ま)の御(ご)
みる(る)ぞ(ぞ)侍(さぶらひ)ども(ども)。めい(めい)
ら(ら)ん(ん)あるよ(よ)。ほ(ほ)うり(り)を(を)

「オホキサイ大后ミヤ」仁寿殿ハ本妻ナリ己レイカヽレ此本ニ太郎トアルニ次ノ歌ノ詞アヽ

のぞ(ぞ)。女(女)御(御)仁寿殿(仁寿殿)
ぶ(ぶ)ん(ん)。又(又)母(母)ぎみ(み)正妻(正妻)
ぎみ(み)。こ(こ)ゝ(ゝ)にまつ(つ)うて(て)
ゐ(い)ま(ま)すをまつ(つ)うして(て)
ゐ(い)ま(ま)すぞ(ぞ)。女(女)房(房)出居(出居)
房(房)のざ(ざ)しよ(よ)き(き)所(所)
ぎ(ぎ)ぬ(ぬ)ぎ(ぎ)すて(て)。おほき(き)
ぎ(ぎ)ぬ(ぬ)ぎ(ぎ)すて(て)。ゐ(い)ま(ま)
ら(ら)ん(ん)。ぬ(ぬ)ぎ(ぎ)すて(て)
ぎ(ぎ)ぬ(ぬ)ぎ(ぎ)すて(て)。ゐ(い)ま(ま)
ら(ら)ん(ん)。ぬ(ぬ)ぎ(ぎ)すて(て)
ぎ(ぎ)ぬ(ぬ)ぎ(ぎ)すて(て)。ゐ(い)ま(ま)
ら(ら)ん(ん)。ぬ(ぬ)ぎ(ぎ)すて(て)
ぎ(ぎ)ぬ(ぬ)ぎ(ぎ)すて(て)。ゐ(い)ま(ま)
ら(ら)ん(ん)。ぬ(ぬ)ぎ(ぎ)すて(て)

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

中の殿
志んてんよハあそをきう
そ[illegible]もとト前ニ見ニ

和名抄 嚴須毛里ト
大和物語故中務ノ宮
ナキ人ノスモリニムニモ
ナル（キニイニハトカ（ルヲ
日ノカナレサ（スモリニト
オモフ心ハトコムレトカヒ
アル（クモナレトコヲキケ
スト文面ヲミモニ
貞梅廣き家ほ大きうち
家さきそしいんくく
ゐるを廣き所ほて

俊五十九丁オ

実忠

[illegible]のこらよ翁こゝろ
めくく（らさいムニ
[illegible]ゆくよて（もし
世の[illegible]
[illegible]ん人の
てみむ（俗ニアマタ俊蔭ノ女ヲ尋出玉ハヌサキニ一条ノ宮ニスモヒヲフ比ナル（ニシ
みく世中（仲忠ノ父也 童正
[illegible]て（なりイ今

[illegible]ひめうくくみをまて
[illegible]
つ[illegible]
[illegible]
[illegible]

ある日（正明）まくら（九五）ひそかぬ（ヨイ）（ムス）のまへ（ヨイ）例なく（名）それもはてゝ（正明）ねやに（千命）（ヨセイ）（正明）まいらせ（ヨセイ）（ムス）（ヨセイ）（正明）まへ（ヨセイ）（ムス）（ヨセイ）（正明）（千命）（ヨセイ）（正明）（ヨセイ）（ムス）（ヨセイ）（正明）（ヨセイ）（ムス）（ヨセイ）（正明）（ヨセイ）（ムス

れり
凡恋一 実忠 おとゝのそふ公の
おくのみやすところんとそ
きこえ給ふ乃ち御
よは廿餘せうとまで。地
めれくのまへに。名ある
をり〳〵よりもいとゞ
とりへて。心ばへをかしき
さまをもてなしたまへり
いかなりけるさがにか
とりわきて。
三四君 実忠 寄 実忠 実忠 実忠

ておそうしゃうとうくちうよこそあむ
よめいせのみをねんしまうくれとせめうくて
うの云ねあようの中将のそうの
はうりうんとなめうくにこのころあ
そふいうとくんまうくてゐるれやうくれ
しゐうねやゐうん。このころ
ちみれん

亘正
あやしくとめれやうくうの
のふとくてゆきも。後生とゆ
ら世まうの。中将あてよくとうくて
ふんのゐうを後生とうくとうくて
ふんくねふよくんくてゐ
のゐうを後生とうくみ後へいてゐ
ふんなるよい中将のそうの
そいでうくとうくゆるれ
ふんのをゐうを後生とうくとうくて
ふんくねふよくんくてゐ
のゐうを後生とうくみ後へいてゐ
ふんなるよい中将のそうの
あいなめもうくうのまれいを後よ
うくて例の筆おいを後のいてゐ
のゆきちくのうくてそれは
ちみれん

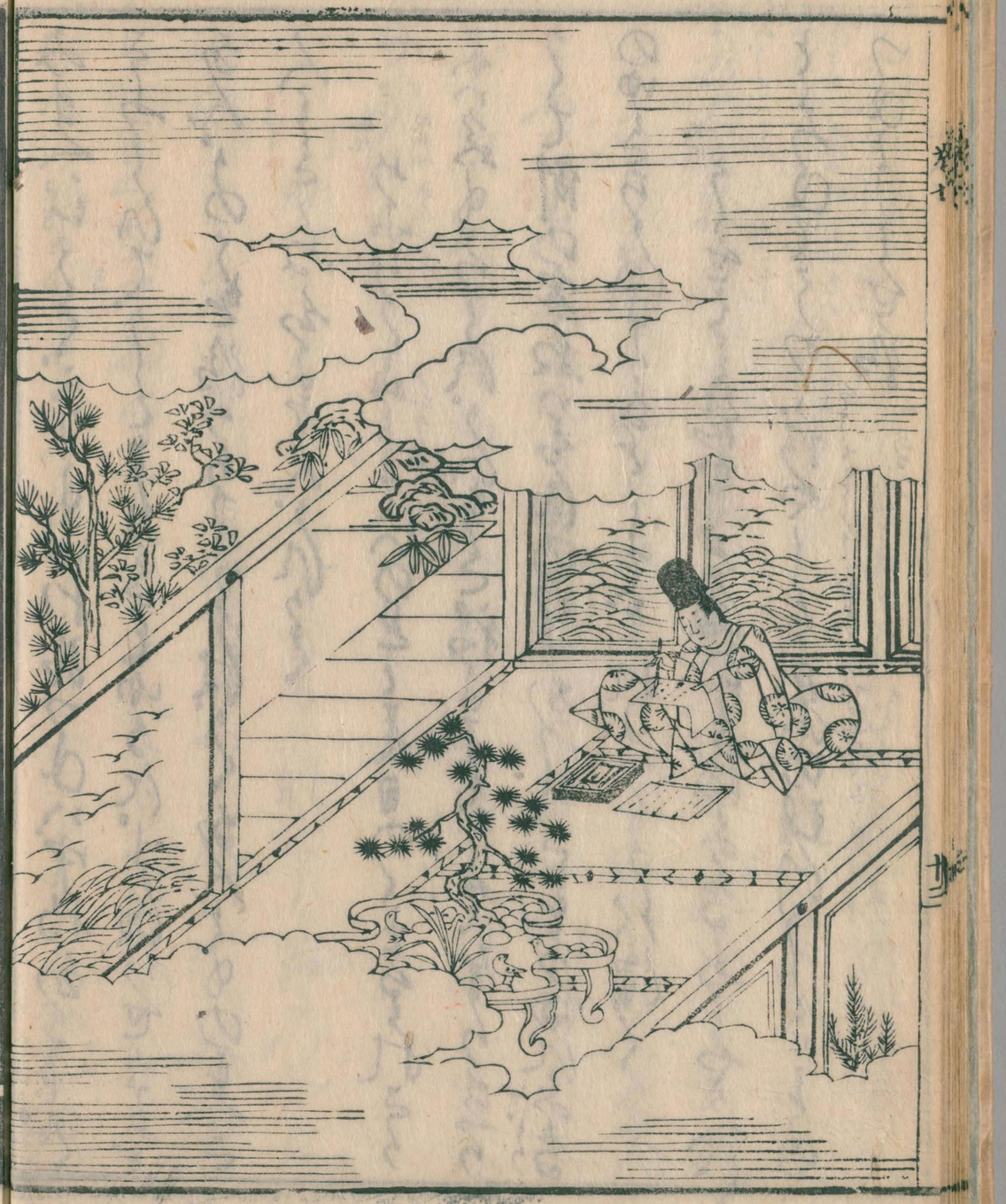
実忠
うせでくゐうを後のとる
大和もろこしはちちうくうくうく

ておそろしくさうよこそのむ
よゆゐしきまでをねんしてうへう
のたえねあそう中将のきみ
はうそうんとをかしうちはやくに
そふうそうそんきうてかる
しおそろしねやかうん。このう
ちみれん

重正 おやうちもれやうう
のふてゆきも。後生
らせう。中将あてよそ
ふの給うせうみ給へいてか
ふくうそうそうれてとうれてな
ふくうそうれうの路のみう
ふくうそうれうの路のみう

駒純 中将ゐ 風神秘 多保物語

めふちうくゆきていの里
ふくうそうれうの路のみう
ふくうそうれうの路のみう
ふくうそうれうの路のみう



国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

正明 山あらしにおちこのもかのもくのいそう

二句 き翔うつろうれ・おりうをみやはかりへみえのう

(ま)と・ゐ・ゐ・ゐ

月のひかりさえ渡り源宰相中将（実忠）
つまのうへ常の君さへ月にめでゝ
れとゐのえ給へく御前の花さかりに
よ立ちまはりくくの給
（実忠）花さかりめでたき（風春下中納言あそん）
なくくそこれなるの給へくの
よそへそくるん
（同）
雲のうへよりもあまくやの
とてもさすらん
りくの（木工）
やくいかゝとするさゝやき

こゑつくりをいとえまへ（実忠）
んなまへたちのこゑ（千古君）
ちくくも称（ヨコヌ）めいかの
を聞うるこそ（の（ヲ）ゼニ明）
（実忠）
あるさ川みさゝやか
まとこれの歌のもとゝ風
らりきこえ（ヨコヌ）（十君テヨ宮）
ちくの（中島）
とうるれ
文の方よ（はイ）
（仲純）
ぬきよたまも

あやしう世ゝてつくゑ(机)のもとにこの侍従(仲純)のやしきたる里人(さとびと)をそよりもまたまへ(前)とはさくゝ(作)ものしつゝこれ(惟)なるし(同)ら(良)にまかしおくゝ(作)ふみ(文)のやうにとゝのへ(調)ゝ(作)ものしつゝまいらせ(参)たるをそれ(惟)かたくしてそひ(琵)きなら(琵琶)しなどしてあそひ(遊)ものしつゝ(作)ゆきのふ(昨日)かへ(帰)りぬ(往)ゑ(絵)ともかきつゝ(作)ものしつゝ(作)まいらせ(参)たるをまち(町)つけ(付)てひろくせん(前栽)のいけ(池)をほりてやまをつきいれ(築入)てまことの山(深山)のさまにつくりなしてまへ(前)にはかうばしき花(香花)のくさ(草)をうへ(植)ゑ(絵)ともかきつゝ(作)ものしつゝまいらせ(参)たるをかい(貝)あはせ(合)などしてあそひ(遊)ものしつゝ(作)ゆきのふ(昨日)かへ(帰)りぬ(往

おとゝたゝ乃天ゐ弁爰れ（右ニ）（い）（忠正）（清正）
ゝんとゝ。ゐんゝ乃ゐゝ（右ニ）（忠俊）
さゐゝす（七君）（四正頼ハ君）
ゐゝで（ム）
ゐゝとゝの（ム）
ゐゝとゝ」（ム）（西）
乃ゝとゝれゝの（ム）
ゐゝとゝ。（ム）
ゐゝとゝ。（ム）
ゐゝとゝ。

事於二件雑色於
天下依為無双京童
部高松之車副等不
及敵対ス
円日京童部集テ天
下ノ変ヒヲ語申ケリ
太平記ニモ往ニ京
童部集テ来ト書
ル人累頃アリ今俗
ニイフ地廻リ共ノ者
男達ナトヲ云歟カ

さはて

ぬれしの秋思ふこと
らうよりそこは里と
なりて
えよはあそれとあや
給つゝ
くうるよ
しあの
ら
こ
ふ
よ
ま
ま
ま

山門堂舎記 ルニウ 摠持院在城増院西進上或名法華仏頂摠持院 ニテ文徳天皇御願始自仁寿三年至貞観四年十ヶ年所造立也 ヲヘリ」 ○叡岳要記上 摠持院供養ノ条 ニテ太政官牒 延暦寺 ニテ右天暦八年九条右丞相所建立也 ニテ

同巻 ルニ十三オ 楞厳三昧院在西塔東北地上 ニテ右天暦八年九条右丞相所建立也 ニテ

太政官牒 延暦寺 応永置楞厳三昧院十禅師并年分度者三人事

一十禅師 伝燈大法師乗悟年五十四 臘四十 伝ーーーー聖救 年五十二 臘三十二 ーーーー琰寿 ーーーー

叡 四十一 二十一 ーーーー静安 四十四 二十二 ーーーー復蕭 廿二 廿五 ーーーー保興 廿二 廿五

十ーー明晉 廿五 十七 ーーーー慶有 廿三 十三 ーーーー良陳 廿三 十三 ーーーー救

右十禅師中三人為含点灵男成仏得道各毎日可轉読法華経二巻傳勝陀羅尼廿一遍大日文殊真言各廿一反七人為天下安穏各毎日可轉念仁王経一部薬師延命観音不動毘沙門真言各廿一反 下皆准

叡岳要記上 ナシ 定摠持院十四僧事 伝燈大法師惠亮 伝燈満位安亮 昌選 伝燈住位傳賢仁 観面 安雲 澄嚴 澄敏 遵術 兼帯 脩演 観朗 嘉祥三年庚午九月十四日 根本中堂 初号比叡山寺後称一乗止観院又曰中堂 始仁寿三年 始置供僧 ニテ

同巻上 廿四オ 摠持院供料事 ニテ 十四僧供料一町定心院十四禅師 ニテ

山門堂舎記 ルニウ 根本中堂 初号比叡山寺後称一乗止観院又曰中堂 ニテ 中興ニ 始仁十四年 始置供僧 ニテ

元慶寺 燈油料 固廳牒 比叡山寺 燈分料油一石八斗 漆塩一斗 栗

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

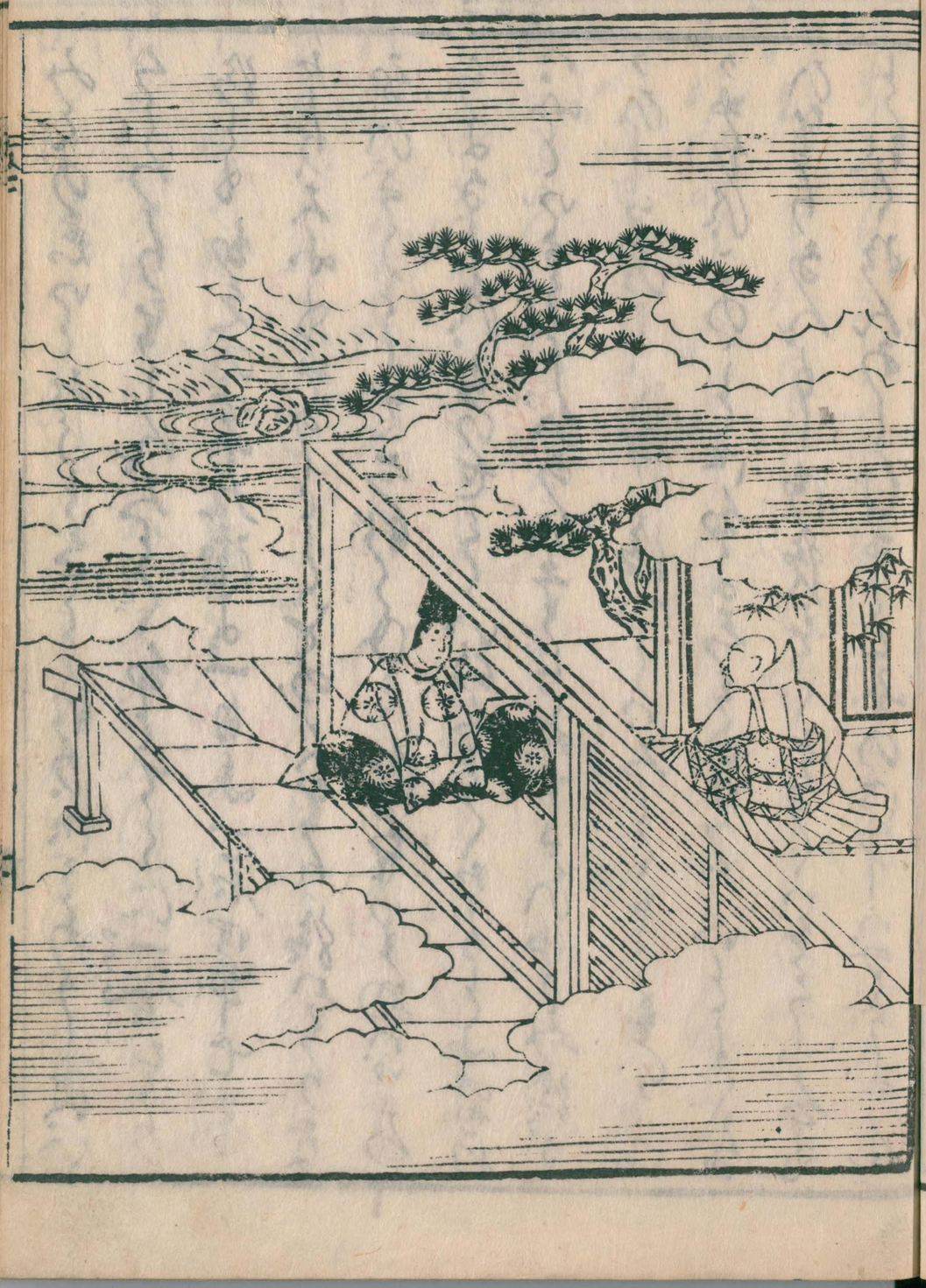
ガラス使用

山門堂舎記 ルニウ 想持院 在戒壇院西北上或名法華仏頂惣持院 ニテ 文徳天皇御願始自仁寿三年至貞観四年十ケ年所造立也 ニテ 〇叡岳要記上 想持院供養ノ条 ニテ 同巻 ルニ三オ 櫻叢三昧院 在西塔北地上 ニテ 右天慶八年九条右丞相呼建立也 ニテ 太政官牒 延暦寺 応永置櫻叢三昧院十禅師并年分度者三人事 一十禅師 傳燈大法師安悟 年五十四 臘四十 傳ーーー聖救 年五十二 臘三十二 叡ーーー静安 四十四 三十 ーーーー珍寿 世四 十八 ーーーー明音 世五 十七 ーーーー慶有 世二 十三 ーーーー復蕭 世二 廿五 ーーーー保與 世一 廿五 右十禅師中三人為合点灵異威仏得通各毎日可轉読法華経二巻傳勝俺燭尼廿一遍大日文殊真言各廿一反七人為天下安穏各毎日可轉念仁王経一部莫師延年観音不動根本印真言各廿一反 下皇カ

叡岳要記上 定想持院十四僧事 傳燈大法師惠亮 法護 泰證 傳燈満位安亮 昌遷 傳燈住位僧叡仁 観面 安雲 増審 澄敏 遺術 泰峯 雅演 観朗 嘉祥三年庚午九月十四日 勅定心院十四禅師 ニテ 同巻上 世四オ 想持院供料事 ニテ 十四僧供料一箇定心院供料 ニテ 山門堂舎記 ルニウ 根本中堂 初号比叡山寺後称一乗止観院古曰中堂 ニテ 中異ニカ 仏仁十四年 陽和ノ院号始 死置燈油料 国厨牒 比叡山寺 燈分料油一石八斗 ニテ 本一ヲ 野洲一ヲ 甲賀八ヲ 蒲生一ヲ 神崎一ヲ 阪田一ヲ 浅井一ヲ 高嶋一ヲ 弘仁四年十月十六日 ニテ 大徳 智度論云梵語漫荼羅此奉言大徳律中多呼仏為大徳 ニテ 増輝記云行満徳高曰大徳 ニテ 釈氏要覧上云 大和物語云寛蓮大徳 ニテ 又史記大徳 ニテ 尚ほしく ニハ 仁 ニテ 傳の西脱ヨリ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

博打ニモノリ　持統紀朱鳥三年十二月己酉朝而辰基謝駿六ごと

梅花盆奉ナリ

古事記上　知恩寺一呼造之宮室

道隆寺　拾芥抄云　ケフ立　塔供養ナリ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

京童ノキヨル程ニ
ロク主タチモ大勢
一千二百人ハカリ
安クハヒエランアマ
ヨウノイデ有ミレキ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

京童ノキヨル裡ニコレハヤスクテ安ク主タチモ大勢人イデスラン合ラ一千二百人ハシリ集リテタニカハ安クウバヒエテンカリヤウバチホノ国クイデ有マレキトテシクタチ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

けいし　家司

ひとるつうそこのあしくそ
ちうれたくうおりうこれとくいうこ
しおりんこといこれうつるしのだ　東遠　六二帳　寺
なもれうかうべしあたうめ　宣
しのへ乃まうみそせよしめう
しこれうそはんつけのそ　繪
おりいまのうしんたうこうこ
れことを十へうれうそうこ　原
けいし　サロノ院　世才　二モ見エ　家司
紫式ア日記上世才　宮司有の家司のまうへきうる
源四三　世才　けとの家司みられ
栄花三十分　おつまる　狩衣一世司　家司
○賀茂行列云　家司ハ家令ちう係ヨ　諸家ニモ
列ヨ有ル　ハ下級司ラシ　○補物ヨル

おうこうれうれうれうれ秋をつうるし
おうこおりんうこ　ねうこ　ねうこ　遣
てうこうれうれかねよそうしふんけのそこ
おおいうれうこ　大　法　事　政
原うこ雨うこせよれうこうこもや
のののふ女ねうこみのうそ　遣
上のの　えうたのことももうえれ
ますうこ原ふいねでうこうこうこ
かねうこれ車のうれうこ中の　ガテ宮
うれうこうこもこたまりんうこ
つこうれうこうこうこうこ　怨　徳

餓鬼草紙下
金作車　永治元十
廿六御禊廿御代金
作檳榔毛廃殊勝倒
檳榔用金物也云々
毛車　挑柄家々乱
入人用檳榔毛蘭奥
白牛領鎰西志ノ戸
庄土産云々仍所望申
之云々
○記傳廿五廿四才
○榮曰記ニ
いとけのかなものよそ
うへみ物のそのよ云
いまよりそのうちつ
うちみもし

いろふ
澤標　カクシルシヨ
キ、ハノモノムニ物オモ
ヒナケニテ沼ウハヘル
ヲイロフシニ思ヒルヲヨ
○四目ト云ホトノフ

はしたなし
良うそく老僧放ト在満
ハイヘリ
うそくハうそくノ
誤ニ考ハ頗華ノ世ニ甚
松月ニルシオキヌ

下給うのひをあけ年十
なり。ゆれうへ下げをもんと
これてよいそみれうてし
りり。なまのの一のうみ
ものそろうかのさ
うらうそあるのほうそ
そうてうぬ。みそのそ
う。ゆうそのほへ
うそくものまりそく
拙そんをあり

正殿　ヨ経　ヨヨハイム　舎人　ヨヨイム　推夫　ヨヨナヒル　アラニヤ　下臈ノ女　よ　塗御徳　御正身　上野宮　檳榔毛　北方　ヨヨナイ　ヨヨハイム　ヨヨイム　ヨヨイム　ヨヨ

由清和
アテ宮ノ人代ノ引タル
車簾ヲ上野ノ宮
ノカニケテノタマヒナリ
次ノ巻ノ頭可係歟

延喜神祇献其大御酒之
時撃口鼓為伎而歌
曰云々

そよう笛

竹取物語曰
ちかひて三日うち
あげ

題昭陳状
日本紀ニ大宴ノ事ヲ古語拾遺ニ大宴ノ宣アリ
ソノ宣アリケル年ヲ記セリ
朝月令ニ延喜一年正月ヒ
ヲ今日正月朔豊明閤ニ
ヲ白馬節会ニ
東陽新豊ノ酒ヲ
ニアリトアリ

山城風土記
張八腹酒而神集
而七月七夜楽遊

日潮楚ノ公事ナラテモナクテハテ私ノ宴楽ヲモイ(ヒ)

とよのあかり　神武紀ニ作大室ヲ於忍坂盛設宴饗ヲ景行紀ニ招群卿而宴
数日矣ニ其宴楽之日撃口伎悉作戯遊不存国家ニモ○黄過ヨリ半ヨリ以上ヲ
豊明ノ節会ヲ新嘗会ノ大嘗会ヲカクノ
せちの　六百番歌合題昭陳状ニハ
あくひまんろひめと宣長翁ノ古事記傳廿三ノ
うちあけあそ　顕宗紀ニ手掌懽亮拍上賜ヲ歌日本紀ニ歌酒之貌也トアリ
酒のを　竹取ニ(ハ)ヒカレ(ヨ)ヲ招上ヲ(ト)ノ約
そそのそ　宇治拾遺　酒ヲノミ(ヒ)
つのそそ　記傳廿七ノ二オ
まなそ　記傳廿七ノ二オ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

由清抱
アテ宮ノ人代ノリタル
車ノ簾ヲ上野ノ宮
ノカケタノミヲナリ
次ノ歌ノ詞可依哉

近衛殿敏其大御酒ヲ
遣九日朝ヲタ長点ヲ
タタルモ清井ノ本ニカク
アルニナラヘリ 但又伊本
ニ此長点アルフナシ

竹取物語曰
その夜より三日うち
あげ遊ぶ

顕昭陳状
日本紀ニ八宴ノ字ヲヨメリ正
説ニモ二八宴ヲ三ヶ日ト云リ
ソノ宣旨ヲ云ヒ承和本
朝ニ今ヨリ延喜八年正月可
ヲ今日正月朔豊明閤
ヲ云ヒ白馬節
雪陽新雪
ニ云ヘルヲ
食ヲヤリ

山城風土記
酔ニ八腹晒而神座々
而七日七夜楽遊

日朝廷ノ公事ナラテモナラヘリ私ノ宴楽ヲモイヘリ

とよのあかり 神武紀ニ作大宴於忌坂盛設宴饗ヲ景行紀ニ招群卿而宴数日矣ト其宴楽之日摩心自安在戯遊ト承和ニ四家ニモ○普通ヨリ早ニ八方ヨリ豊明節会ヲ云ヒ新嘗会ヲ云ヒ大嘗会ヲ云ヒ六月晦日会ヲ云ヒ古事記傳廿二五七九丁豊明の語意ハ大御酒ヲ食ヒ大御顔の照りさかゆる事ヲ云ヒ古事記傳廿二五七八丁(拍上賜者)ともあり顕宗紀ハ手掌慘亮拍上賜ヲ叙日本紀ヲ飲酒之変也ともあり(深花)竹取ニ此ノ事ヲ云ヒ同淺緑ニ三日ノ内ヨリ酒ノミ物ヲ食ヒ遊ヒ(ヲ)宇治拾遺ニ酒ヲ飲ヒ遊ヒ(ヲ)記傳廿七十六オ○記傳廿七十六オ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

由清都アテ宮ノ人代ノ少ル事ノ筈ヨ上野ノ宮ノカケテヲノミブナリ次ノ巻ノ頭ニ侍ル

起而種殷献其大御酒之時撃口鼓為仮而歌之曰ヲ

そよう笛

遺先曰朱モテ長点カケルモ清井ノ本ニヲノアルニナラヘリ但又伊勢ニハ長点アルナシ

竹取物語曰

ちあげ給ふ

無礼ナメシ月見侍ルカ

七夜とよのあかりしてくらあ

えいのりせしとくそこをいめ

のことくふとうあるあめこと

ひめくもあらんそ御徳

ひめくもあらんそ御徳

こゝあるうちまもりの

みくらをなんそかつら

のことくもあるとうこれ

紅せのかよいまでぬりの

そこそこにたゝのかよ

祝ひよあるへんのやうに

よそうれしそうも

上野宮

上野宮

[illegible]

[illegible]

[illegible]

使天司甲まもり
土左日記 日一日見ゆれつるそきそてゐな
空蝉 あのかそつるそきそつ思ふ
蜻蛉日記 いとうとそつるそきそも
東鑑卷四 弾指
太平記吉義卷十 仇弾

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

[illegible]

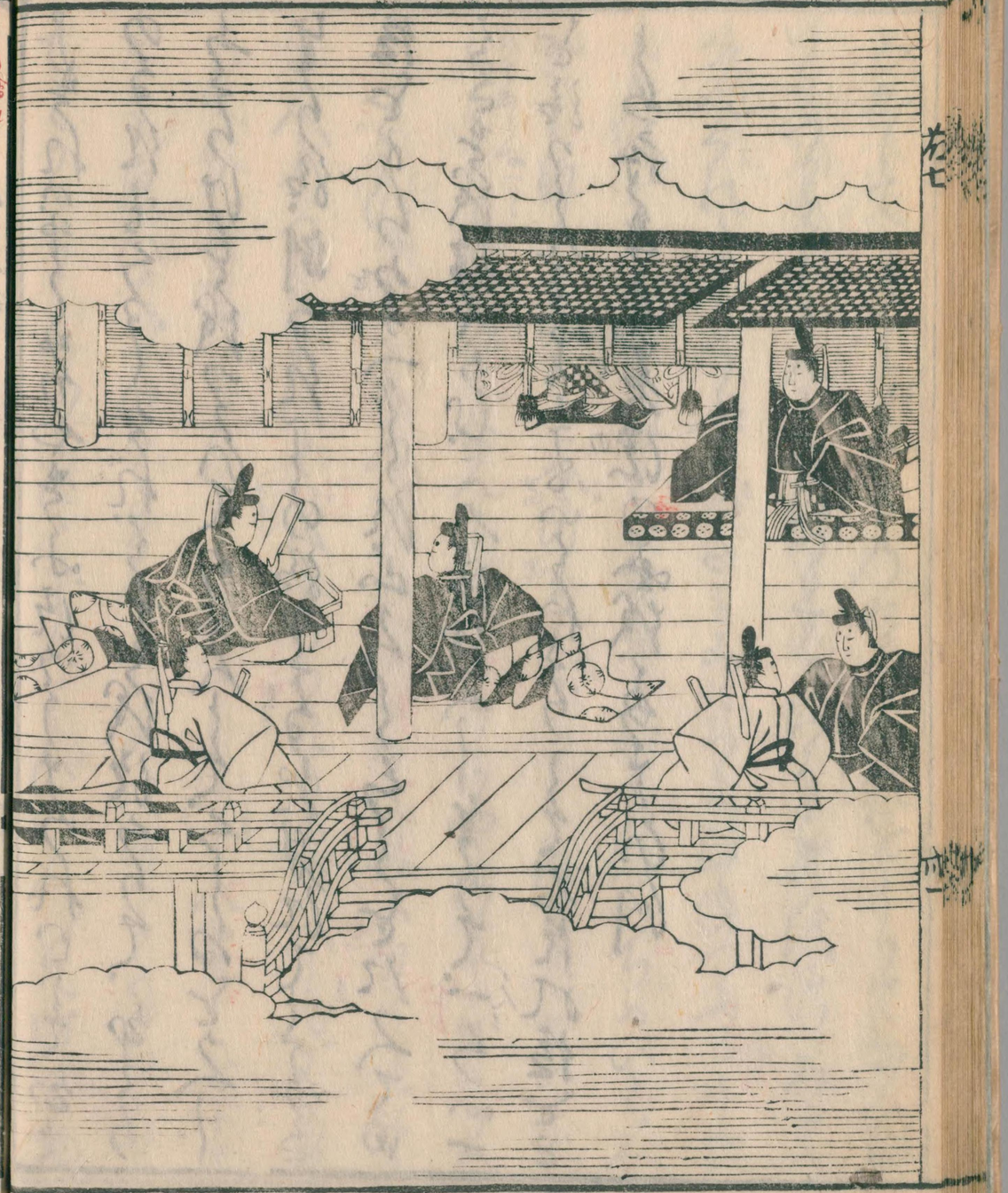
[illegible]

[illegible]

地五歳バカリノ男子母ノ市ヤラ姫ルノアリテ共腹立ニ父大臣ニ母ノミツカニ死ノ橘取テ参ラセヒラヒヒツクルヘ

袖ヲ引テ泣ケルヲ見テ

ヘきく然ー



君簾

道祐曰乃ハ衍ナシ

道祐曰ホヽ一ハ志ヨリ

和名抄 唐都宮名俗云東西町是也生曹物舎也 土佐日記 山崎のほとり

孫ヒ

四面

布

食 モヲ 行ヒ

欲

寝 ネヤ

御厨子所

枕 マクラ

榑 ハリ

畳

盛

その九帽こ

さいつえ
和名抄農耕具
鎛ヲ漢語抄云佐
比都恵鋤属也釈名
云鋤迫地去草也
是須再按ニ

つくるやうにて、くらはなけて、くれのたいこ
さいつそ
とをうつそ、ゑひ(ゑ)ものとりて(直衣)
お車(き)よりおりたまひて(給)
まうてたまふ(給)。(殿)
これはそ(の)(柳)
と、これはつくりみなよりつくりたる
笑ひたまふ。(く)
乃つきたまひ(の)
ちよろこひ(買)
ひくらしてかへりたまひぬ。
それ人の娘(むすめ)
も(う)
ま(き)
ま(き)
ま(き

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

古今文　貫之
玄のうの子すゝ
まれい時るる
一ふしあるへし
みつめ

根松ニ荘待ツスヘリ

ヌ
コニラケケトモアケヌ
シノヽメナトニヤ次音
スルノトテハキエス凍
ヽナンコヽモキノフ
ンヤ考ヘシ

六帖ニイトハ川アリ
合セ考ヘシ

よれゝのこゝろりてこゝろよ物のあ
くなをこゝ紀長谷雄（金）（ミセ）
ひろく（ミセ）（ふれ）（ふる）（ふる）（ふる

※少将ト銘ニヤモ御山住
坊ノ帯カ○カヽル○父ぬ（薄
ニゆこそ○父ぬ（薄
刀ノ父ナンヘシ又モ
ノ居据ニアラン○ノ父
ぬトカルハアテ宿ノ父ナ
ルヘン此ノ表四行裏七八
行何トカキヨヌ文ナシ

※ニヌラヲハニヌゲノ据
裏覚カ庄物送リシ
ヲラ中媒副等ホンテ
ケレンメン多クノ御方ハ
ヅストモ得難テンヤトニ
ナルヘン

※「ときさ――腸ヤ――カヽル
父殿ヘモ媒ヲ騎馬セン
イフフカ

※オト・云ハオトヽトニヲ

※ムヤニラウハ
ウヤカラスヤン

（四丁表）和名抄保今按木
槵也重皃槵之坦
重也

（四丁裏）

はゝこのもろこしてんとうハ多イ
そ、うへ給もさ――ぜくるんぬ
はゝ見乃まいことたそうりめ
ぞそそそうなゝ女ともそ
れいつゝへおやうそうもそ
らくぶれそのもろいさぐれ
てぞそうりうゝ女ともふも
ふにこさいはうんこれ
きぐらいさてむさんうり
めくぬふのこれてまそ
ぬむまのゝうんそ

嫄 長門ムメ

麥

粉

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

あてかくう 後撰 後拾遺 あとうくうのかぞとうてかくうえいひつそーる

明阿云あとうくうハ今俗なあどうつとゆうくあ後の意なるそろう

拾二 細中ー、だくくう

松云ー サットイハニヨトニサットアトウケヲナヤウヤトイフ人ノニモヅ

ひとうく 秘色ニ宇記 赤楊 御墓ヒンヤウノモロコレノモノナレトロ数ナキモル器ニテ青磁ノヤキモノナリ

ニトウノホルハニトウホルカうあるうくて

二百石ノ入用ヨカケテクラセルトヤ

玄門めのとの名乳 長門カル注 錯本ニ娘トアルス

のたうを乳母ひめ君 三人 ふたり 娘 姉 妹 老 侍従 倉 二郎 三郎 坊 君子 忠純 老

ふたりある。ひめ君のさいこ 妹 ひめ君 ニ ひめ君 ひめ君 ひめ君

和名抄 無事曰繼 和名波 無大曰寡 和名也
下文 四ノ九ウ
[illegible]氏ノ相承ヲヤ 侍テ退テトヒ 為ヒヲ ヲノ恥ヲヤ ヲヤウテ
[illegible]ヲヤ 男ノヒトリ [illegible]ヲ 退テヤ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ゐ
ゑ
を

宇津保物語 巻三十 楼上 下

楼上 下

一

（底本欠）

二

（底本欠）

三

（底本欠）

四

（底本欠）

五

（底本欠）

六

（底本欠）

七

（底本欠）

八

（底本欠）

九

（底本欠）

十

（底本欠）

十一

（底本欠）

十二

（底本欠）

十三

（底本欠）

十四

（底本欠）

十五

（底本欠）

十六

（底本欠）

十七

（底本欠）

十八

（底本欠）

十九

（底本欠）

二十

（底本欠）

二十一

（底本欠）

二十二

（底本欠）

二十三

（底本欠）

二十四

（底本欠）

二十五

（底本欠）

二十六

（底本欠）

二十七

（底本欠）

二十八

（底本欠）

二十九

（底本欠）

三十

（底本欠）

三十一

（底本欠）

三十二

（底本欠）

三十三

（底本欠）

三十四

（底本欠）

三十五

（底本欠）

三十六

（底本欠）

三十七

（底本欠）

三十八

（底本欠）

三十九

（底本欠）

四十

（底本欠）

四十一

（底本欠）

四十二

（底本欠）

四十三

（底本欠）

四十四

（底本欠）

四十五

（底本欠）

四十六

（底本欠）

四十七

（底本欠）

四十八

（底本欠）

四十九

（底本欠）

五十

（底本欠）

五十一

（底本欠）

五十二

（底本欠）

五十三

（底本欠）

五十四

（底本欠）

五十五

（底本欠）

五十六

（底本欠）

五十七

（底本欠）

五十八

（底本欠）

五十九

（底本欠）

六十

（底本欠）

六十一

（底本欠）

六十二

（底本欠）

六十三

（底本欠）

六十四

（底本欠）

六十五

（底本欠）

六十六

（底本欠）

六十七

（底本欠）

六十八

（底本欠）

六十九

（底本欠）

七十

（底本欠）

七十一

（底本欠）

七十二

（底本欠）

七十三

（底本欠）

七十四

（底本欠）

七十五

（底本欠）

七十六

（底本欠）

七十七

（底本欠）

七十八

（底本欠）

七十九

（底本欠）

八十

（底本欠）

八十一

（底本欠）

八十二

（底本欠）

八十三

（底本欠）

八十四

（底本欠）

八十五

（底本欠）

八十六

（底本欠）

八十七

（底本欠）

八十八

（底本欠）

八十九

（底本欠）

九十

（底本欠）

九十一

（底本欠）

九十二

（底本欠）

九十三

（底本欠）

九十四

（底本欠）

九十五

（底本欠）

九十六

（底本欠）

九十七

（底本欠）

九十八

（底本欠）

九十九

（底本欠）

百

（底本欠）

百一

（底本欠）

百二

（底本欠）

百三

（底本欠）

百四

（底本欠）

百五

（底本欠）

百六

（底本欠）

百七

（底本欠）

百八

（底本欠）

百九

（底本欠）

百十

（底本欠）

百十一

（底本欠）

百十二

（底本欠）

百十三

（底本欠）

百十四

（底本欠）

百十五

（底本欠）

百十六

（底本欠）

百十七

（底本欠）

百十八

（底本欠）

百十九

（底本欠）

百二十

（底本欠）

百二十一

（底本欠）

百二十二

（底本欠）

百二十三

（底本欠）

百二十四

（底本欠）

百二十五

（底本欠）

百二十六

（底本欠）

百二十七

（底本欠）

百二十八

（底本欠）

百二十九

（底本欠）

百三十

（底本欠）

百三十一

（底本欠）

百三十二

（底本欠）

百三十三

（底本欠）

百三十四

（底本欠）

百三十五

（底本欠）

百三十六

（底本欠）

百三十七

（底本欠）

百三十八

（底本欠）

百三十九

（底本欠）

百四十

（底本欠）

百四十一

（底本欠）

百四十二

（底本欠）

百四十三

（底本欠）

百四十四

（底本欠）

百四十五

（底本欠）

百四十六

（底本欠）

百四十七

（底本欠）

百四十八

（底本欠）

百四十九

（底本欠）

百五十

（底本欠）

百五十一

（底本欠）

百五十二

（底本欠）

百五十三

（底本欠）

百五十四

（底本欠）

百五十五

（底本欠）

百五十六

（底本欠）

百五十七

（底本欠）

百五十八

（底本欠）

百五十九

（底本欠）

百六十

（底本欠）

百六十一

（底本欠）

百六十二

（底本欠）

百六十三

（底本欠）

百六十四

（底本欠）

百六十五

（底本欠）

百六十六

（底本欠）

百六十七

（底本欠）

百六十八

（底本欠）

百六十九

（底本欠）

百七十

（底本欠）

百七十一

（底本欠）

百七十二

（底本欠）

百七十三

（底本欠）

百七十四

（底本欠）

百七十五

（底本欠）

百七十六

（底本欠）

百七十七

（底本欠）

百七十八

（底本欠）

百七十九

（底本欠）

百八十

（底本欠）

百八十一

（底本欠）

百八十二

（底本欠）

百八十三

（底本欠）

百八十四

（底本欠）

百八十五

（底本欠）

百八十六

（底本欠）

百八十七

（底本欠）

百八十八

（底本欠）

百八十九

（底本欠）

百九十

（底本欠）

百九十一

（底本欠）

百九十二

（底本欠）

百九十三

（底本欠）

百九十四

（底本欠）

百九十五

（底本欠）

百九十六

（底本欠）

百九十七

（底本欠）

百九十八

（底本欠）

百九十九

（底本欠）

二百

（底本欠）

二百一

（底本欠）

二百二

（底本欠）

二百三

（底本欠）

二百四

（底本欠）

二百五

（底本欠）

二百六

（底本欠）

二百七

（底本欠）

二百八

（底本欠）

二百九

（底本欠）

二百十

（底本欠）

二百十一

（底本欠）

二百十二

（底本欠）

二百十三

（底本欠）

二百十四

（底本欠）

二百十五

（底本欠）

二百十六

（底本欠）

二百十七

（底本欠）

二百十八

（底本欠）

二百十九

（底本欠）

二百二十

（底本欠）

二百二十一

（底本欠）

二百二十二

（底本欠）

二百二十三

（底本欠）

二百二十四

（底本欠）

二百二十五

（底本欠）

二百二十六

（底本欠）

二百二十七

（底本欠）

二百二十八

（底本欠）

二百二十九

（底本欠）

二百三十

（底本欠）

二百三十一

（底本欠）

二百三十二

（底本欠）

二百三十三

（底本欠）

二百三十四

（底本欠）

二百三十五

（底本欠）

二百三十六

（底本欠）

二百三十七

（底本欠）

二百三十八

（底本欠）

二百三十九

（底本欠）

二百四十

（底本欠）

二百四十一

（底本欠）

二百四十二

（底本欠）

二百四十三

（底本欠）

二百四十四

（底本欠）

二百四十五

（底本欠）

二百四十六

（底本欠）

二百四十七

（底本欠）

二百四十八

（底本欠）

二百四十九

（底本欠）

二百五十

（底本欠）

二百五十一

（底本欠）

二百五十二

（底本欠）

二百五十三

（底本欠）

二百五十四

（底本欠）

二百五十五

（底本欠）

二百五十六

（底本欠）

二百五十七

（底本欠）

二百五十八

（底本欠）

二百五十九

（底本欠）

二百六十

（底本欠）

二百六十一

（底本欠）

二百六十二

（底本欠）

二百六十三

（底本欠）

二百六十四

（底本欠）

二百六十五

（底本欠）

二百六十六

（底本欠）

二百六十七

（底本欠）

二百六十八

（底本欠）

二百六十九

（底本欠）

二百七十

（底本欠）

二百七十一

（底本欠）

二百七十二

（底本欠）

二百七十三

（底本欠）

二百七十四

（底本欠）

二百七十五

（底本欠）

二百七十六

（底本欠）

二百七十七

（底本欠）

二百七十八

（底本欠）

二百七十九

（底本欠）

二百八十

（底本欠）

二百八十一

（底本欠）

二百八十二

（底本欠）

二百八十三

（底本欠）

二百八十四

（底本欠）

二百八十五

（底本欠）

二百八十六

（底本欠）

二百八十七

（底本欠）

二百八十八

（底本欠）

二百八十九

（底本欠）

二百九十

（底本欠）

二百九十一

（底本欠）

二百九十二

（底本欠）

二百九十三

（底本欠）

二百九十四

（底本欠）

二百九十五

（底本欠）

二百九十六

（底本欠）

二百九十七

（底本欠）

二百九十八

（底本欠）

二百九十九

（底本欠）

三百

（底本欠）

三百一

（底本欠）

三百二

（底本欠）

三百三

（底本欠）

三百四

（底本欠）

三百五

（底本欠）

三百六

（底本欠）

三百七

（底本欠）

三百八

（底本欠）

三百九

（底本欠）

三百十

（底本欠）

三百十一

（底本欠）

三百十二

（底本欠）

三百十三

（底本欠）

三百十四

（底本欠）

三百十五

（底本欠）

三百十六

（底本欠）

三百十七

（底本欠）

三百十八

（底本欠）

三百十九

（底本欠）

三百二十

（底本欠）

三百二十一

（底本欠）

三百二十二

（底本欠）

三百二十三

（底本欠）

三百二十四

（底本欠）

三百二十五

（底本欠）

三百二十六

（底本欠）

三百二十七

（底本欠）

三百二十八

（底本欠）

三百二十九

（底本欠）

三百三十

（底本欠）

三百三十一

（底本欠）

三百三十二

（底本欠）

三百三十三

（底本欠）

三百三十四

（底本欠）

三百三十五

（底本欠）

三百三十六

（底本欠）

三百三十七

（底本欠）

三百三十八

（底本欠）

三百三十九

（底本欠）

三百四十

（底本欠）

三百四十一

（底本欠）

三百四十二

（底本欠）

三百四十三

（底本欠）

三百四十四

（底本欠）

三百四十五

（底本欠）

三百四十六

（底本欠）

三百四十七

（底本欠）

三百四十八

（底本欠）

三百四十九

（底本欠）

三百五十

（底本欠）

三百五十一

（底本欠）

三百五十二

（底本欠）

三百五十三

（底本欠）

三百五十四

（底本欠）

三百五十五

（底本欠）

三百五十六

（底本欠）

三百五十七

（底本欠）

三百五十八

（底本欠）

三百五十九

（底本欠）

三百六十

（底本欠）

三百六十一

（底本欠）

三百六十二

（底本欠）

三百六十三

（底本欠）

三百六十四

（底本欠）

三百六十五

（底本欠）

三百六十六

（底本欠）

三百六十七

（底本欠）

三百六十八

（底本欠）

三百六十九

（底本欠）

三百七十

（底本欠）

三百七十一

（底本欠）

三百七十二

（底本欠）

三百七十三

（底本欠）

三百七十四

（底本欠）

三百七十五

（底本欠）

三百七十六

（底本欠）

三百七十七

（底本欠）

三百七十八

（底本欠）

三百七十九

（底本欠）

三百八十

（底本欠）

三百八十一

（底本欠）

三百八十二

（底本欠）

三百八十三

（底本欠）

三百八十四

（底本欠）

三百八十五

（底本欠）

三百八十六

（底本欠）

三百八十七

（底本欠）

三百八十八

（底本欠）

三百八十九

（底本欠）

三百九十

（底本欠）

三百九十一

（底本欠）

三百九十二

（底本欠）

三百九十三

（底本欠）

三百九十四

（底本欠）

三百九十五

（底本欠）

三百九十六

（底本欠）

三百九十七

（底本欠）

三百九十八

（底本欠）

三百九十九

（底本欠）

四百

（底本欠）

四百一

（底本欠）

四百二

（底本欠）

四百三

（底本欠）

四百四

（底本欠）

四百五

（底本欠）

四百六

（底本欠）

四百七

（底本欠）

四百八

（底本欠）

四百九

（底本欠）

四百十

（底本欠）

四百十一

（底本欠）

四百十二

（底本欠）

四百十三

（底本欠）

四百十四

（底本欠）

四百十五

（底本欠）

四百十六

（底本欠）

四百十七

（底本欠）

四百十八

（底本欠）

四百十九

（底本欠）

四百二十

（底本欠）

四百二十一

（底本欠）

四百二十二

（底本欠）

四百二十三

（底本欠）

四百二十四

（底本欠）

四百二十五

（底本欠）

四百二十六

（底本欠）

四百二十七

（底本欠）

四百二十八

（底本欠）

四百二十九

（底本欠）

四百三十

（底本欠）

四百三十一

（底本欠）

四百三十二

（底本欠）

四百三十三

（底本欠）

四百三十四

（底本欠）

四百三十五

（底本欠）

四百三十六

（底本欠）

四百三十七

（底本欠）

四百三十八

（底本欠）

四百三十九

（底本欠）

四百四十

（底本欠）

四百四十一

（底本欠）

四百四十二

（底本欠）

四百四十三

（底本欠）

四百四十四

（底本欠）

四百四十五

（底本欠）

四百四十六

（底本欠）

四百四十七

（底本欠）

四百四十八

（底本欠）

四百四十九

（底本欠）

四百五十

（底本欠）

四百五十一

（底本欠）

四百五十二

（底本欠）

四百五十三

（底本欠）

四百五十四

（底本欠）

四百五十五

（底本欠）

四百五十六

（底本欠）

四百五十七

（底本欠）

四百五十八

（底本欠）

四百五十九

（底本欠）

四百六十

（底本欠）

四百六十一

（底本欠）

四百六十二

（底本欠）

四百六十三

（底本欠）

四百六十四

（底本欠）

四百六十五

（底本欠）

四百六十六

（底本欠）

四百六十七

（底本欠）

四百六十八

（底本欠）

四百六十九

（底本欠）

四百七十

（底本欠）

四百七十一

（底本欠）

四百七十二

（底本欠）

四百七十三

（底本欠）

四百七十四

（底本欠）

四百七十五

（底本欠）

四百七十六

（底本欠）

四百七十七

（底本欠）

四百七十八

（底本欠）

四百七十九

（底本欠）

四百八十

（底本欠）

四百八十一

（底本欠）

四百八十二

（底本欠）

四百八十三

（底本欠）

四百八十四

（底本欠）

四百八十五

（底本欠）

四百八十六

（底本欠）

四百八十七

（底本欠）

四百八十八

（底本欠）

四百八十九

（底本欠）

四百九十

（底本欠）

四百九十一

（底本欠）

四百九十二

（底本欠）

四百九十三

（底本欠）

四百九十四

（底本欠）

四百九十五

（底本欠）

四百九十六

（底本欠）

四百九十七

（底本欠）

四百九十八

（底本欠）

四百九十九

（底本欠）

五百

（底本欠）

五百一

（底本欠）

五百二

（底本欠）

五百三

（底本欠）

五百四

（底本欠）

五百五

（底本欠）

五百六

（底本欠）

五百七

（底本欠）

五百八

（底本欠）

五百九

（底本欠）

五百十

（底本欠）

五百十一

（底本欠）

五百十二

（底本欠）

五百十三

（底本欠）

五百十四

（底本欠）

五百十五

（底本欠）

五百十六

（底本欠）

五百十七

（底本欠）

五百十八

（底本欠）

五百十九

（底本欠）

五百二十

（底本欠）

五百二十一

（底本欠）

五百二十二

（底本欠）

五百二十三

（底本欠）

五百二十四

（底本欠）

五百二十五

（底本欠）

五百二十六

（底本欠）

五百二十七

（底本欠）

五百二十八

（底本欠）

五百二十九

（底本欠）

五百三十

（底本欠）

五百三十一

（底本欠）

五百三十二

（底本欠）

五百三十三

（底本欠）

五百三十四

（底本欠）

五百三十五

（底本欠）

五百三十六

（底本欠）

五百三十七

（底本欠）

五百三十八

（底本欠）

五百三十九

（底本欠）

五百四十

（底本欠）

五百四十一

（底本欠）

五百四十二

（底本欠）

五百四十三

（底本欠）

五百四十四

（底本欠）

五百四十五

（底本欠）

五百四十六

（底本欠）

五百四十七

（底本欠）

五百四十八

（底本欠）

五百四十九

（底本欠）

五百五十

（底本欠）

五百五十一

（底本欠）

五百五十二

（底本欠）

五百五十三

（底本欠）

五百五十四

（底本欠）

五百五十五

（底本欠）

五百五十六

（底本欠）

五百五十七

（底本欠）

五百五十八

（底本欠）

五百五十九

（底本欠）

五百六十

（底本欠）

五百六十一

（底本欠）

五百六十二

（底本欠）

五百六十三

（底本欠）

五百六十四

（底本欠）

五百六十五

（底本欠）

五百六十六

（底本欠）

五百六十七

（底本欠）

五百六十八

（底本欠）

五百六十九

（底本欠）

五百七十

（底本欠）

五百七十一

（底本欠）

五百七十二

（底本欠）

五百七十三

（底本欠）

五百七十四

（底本欠）

五百七十五

（底本欠）

五百七十六

（底本欠）

五百七十七

（底本欠）

五百七十八

（底本欠）

五百七十九

（底本欠）

五百八十

（底本欠）

五百八十一

（底本欠）

五百八十二

（底本欠）

五百八十三

（底本欠）

五百八十四

（底本欠）

五百八十五

（底本欠）

五百八十六

（底本欠）

五百八十七

（底本欠）

五百八十八

（底本欠）

五百八十九

（底本欠）

五百九十

（底本欠）

五百九十一

（底本欠）

五百九十二

（底本欠）

五百九十三

（底本欠）

五百九十四

（底本欠）

五百九十五

（底本欠）

五百九十六

（底本欠）

五百九十七

（底本欠）

五百九十八

（底本欠）

五百九十九

（底本欠）

六百

（底本欠）

六百一

（底本欠）

六百二

（底本欠）

六百三

（底本欠）

六百四

（底本欠）

六百五

（底本欠）

六百六

（底本欠）

六百七

（底本欠）

六百八

（底本欠）

六百九

（底本欠）

六百十

（底本欠）

六百十一

（底本欠）

六百十二

（底本欠）

六百十三

（底本欠）

六百十四

（底本欠）

六百十五

（底本欠）

六百十六

（底本欠）

六百十七

（底本欠）

六百十八

（底本欠）

六百十九

（底本欠）

六百二十

（底本欠）

六百二十一

（底本欠）

六百二十二

（底本欠）

六百二十三

（底本欠）

六百二十四

（底本欠）

六百二十五

（底本欠）

六百二十六

（底本欠）

六百二十七

（底本欠）

六百二十八

（底本欠）

六百二十九

（底本欠）

六百三十

（底本欠）

六百三十一

（底本欠）

六百三十二

（底本欠）

六百三十三

（底本欠）

六百三十四

（底本欠）

六百三十五

（底本欠）

六百三十六

（底本欠）

六百三十七

（底本欠）

六百三十八

（底本欠）

六百三十九

（底本欠）

六百四十

（底本欠）

六百四十一

（底本欠）

六百四十二

（底本欠）

六百四十三

（底本欠）

六百四十四

（底本欠）

六百四十五

（底本欠）

六百四十六

（底本欠）

六百四十七

（底本欠）

六百四十八

（底本欠）

六百四十九

（底本欠）

六百五十

（底本欠）

六百五十一

（底本欠）

六百五十二

（底本欠）

六百五十三

（底本欠）

六百五十四

（底本欠）

六百五十五

（底本欠）

六百五十六

（底本欠）

六百五十七

（底本欠）

六百五十八

（底本欠）

六百五十九

（底本欠）

六百六十

（底本欠）

六百六十一

（底本欠）

六百六十二

（底本欠）

六百六十三

（底本欠）

六百六十四

（底本欠）

六百六十五

（底本欠）

六百六十六

（底本欠）

六百六十七

（底本欠）

六百六十八

（底本欠）

六百六十九

（底本欠）

六百七十

（底本欠）

六百七十一

（底本欠）

六百七十二

（底本欠）

六百七十三

（底本欠）

六百七十四

（底本欠）

六百七十五

（底本欠）

六百七十六

（底本欠）

六百七十七

（底本欠）

六百七十八

（底本欠）

六百七十九

（底本欠）

六百八十

（底本欠）

六百八十一

（底本欠）

六百八十二

（底本欠）

六百八十三

（底本欠）

六百八十四

（底本欠）

六百八十五

（底本欠）

六百八十六

（底本欠）

六百八十七

（底本欠）

六百八十八

（底本欠）

六百八十九

（底本欠）

六百九十

（底本欠）

六百九十一

（底本欠）

六百九十二

（底本欠）

六百九十三

（底本欠）

六百九十四

（底本欠）

六百九十五

（底本欠）

六百九十六

（底本欠）

六百九十七

（底本欠）

六百九十八

（底本欠）

六百九十九

（底本欠）

七百

（底本欠）

七百一

（底本欠）

七百二

（底本欠）

七百三

（底本欠）

七百四

（底本欠）

七百五

（底本欠）

七百六

（底本欠）

七百七

（底本欠）

七百八

（底本欠）

七百九

（底本欠）

七百十

（底本欠）

七百十一

（底本欠）

七百十二

（底本欠）

七百十三

（底本欠）

七百十四

（底本欠）

七百十五

（底本欠）

七百十六

（底本欠）

七百十七

（底本欠）

七百十八

（底本欠）

七百十九

（底本欠）

七百二十

（底本欠）

七百二十一

（底本欠）

七百二十二

（底本欠）

七百二十三

（底本欠）

七百二十四

（底本欠）

七百二十五

（底本欠）

七百二十六

（底本欠）

七百二十七

（底本欠）

七百二十八

（底本欠）

七百二十九

（底本欠）

七百三十

（底本欠）

七百三十一

（底本欠）

七百三十二

（底本欠）

七百三十三

（底本欠）

七百三十四

（底本欠）

七百三十五

（底本欠）

七百三十六

（底本欠）

七百三十七

（底本欠）

七百三十八

（底本欠）

七百三十九

（底本欠）

七百四十

（底本欠）

七百四十一

（底本欠）

七百四十二

（底本欠）

七百四十三

（底本欠）

七百四十四

（底本欠）

七百四十五

（底本欠）

七百四十六

（底本欠）

七百四十七

（底本欠）

七百四十八

（底本欠）

七百四十九

（底本欠）

七百五十

（底本欠）

七百五十一

（底本欠）

七百五十二

（底本欠）

七百五十三

（底本欠）

七百五十四

（底本欠）

七百五十五

（底本欠）

七百五十六

（底本欠）

七百五十七

（底本欠）

七百五十八

（底本欠）

七百五十九

（底本欠）

七百六十

（底本欠）

七百六十一

（底本欠）

七百六十二

（底本欠）

七百六十三

（底本欠）

七百六十四

（底本欠）

七百六十五

（底本欠）

七百六十六

（底本欠）

七百六十七

（底本欠）

七百六十八

（底本欠）

七百六十九

（底本欠）

七百七十

（底本欠）

七百七十一

（底本欠）

七百七十二

（底本欠）

七百七十三

（底本欠）

七百七十四

（底本欠）

七百七十五

（底本欠）

七百七十六

（底本欠）

七百七十七

（底本欠）

七百七十八

（底本欠）

七百七十九

（底本欠）

七百八十

（底本欠）

七百八十一

（底本欠）

七百八十二

（底本欠）

七百八十三

（底本欠）

七百八十四

（底本欠）

七百八十五

（底本欠）

七百八十六

（底本欠）

七百八十七

（底本欠）

七百八十八

（底本欠）

七百八十九

（底本欠）

七百九十

（底本欠）

七百九十一

（底本欠）

七百九十二

（底本欠）

七百九十三

（底本欠）

七百九十四

（底本欠）

七百九十五

（底本欠）

七百九十六

（底本欠）

七百九十七

（底本欠）

七百九十八

（底本欠）

七百九十九

（底本欠）

八百

（底本欠）

八百一

（底本欠）

八百二

（底本欠）

八百三

（底本欠）

八百四

（底本欠）

八百五

（底本欠）

八百六

（底本欠）

八百七

（底本欠）

八百八

（底本欠）

八百九

（底本欠）

八百十

（底本欠）

八百十一

（底本欠）

八百十二

（底本欠）

八百十三

（底本欠）

八百十四

（底本欠）

八百十五

（底本欠）

八百十六

（底本欠）

八百十七

（底本欠）

八百十八

（底本欠）

八百十九

（底本欠）

八百二十

（底本欠）

八百二十一

（底本欠）

八百二十二

（底本欠）

八百二十三

（底本欠）

八百二十四

（底本欠）

八百二十五

（底本欠）

八百二十六

（底本欠）

八百二十七

（底本欠）

八百二十八

（底本欠）

八百二十九

（底本欠）

八百三十

（底本欠）

八百三十一

（底本欠）

八百三十二

（底本欠）

八百三十三

（底本欠）

八百三十四

（底本欠）

八百三十五

（底本欠）

八百三十六

（底本欠）

八百三十七

（底本欠）

八百三十八

（底本欠）

八百三十九

（底本欠）

八百四十

（底本欠）

八百四十一

（底本欠）

八百四十二

（底本欠）

八百四十三

（底本欠）

八百四十四

（底本欠）

八百四十五

（底本欠）

八百四十六

（底本欠）

八百四十七

（底本欠）

八百四十八

（底本欠）

八百四十九

（底本欠）

八百五十

（底本欠）

八百五十一

（底本欠）

八百五十二

（底本欠）

八百五十三

（底本欠）

八百五十四

（底本欠）

八百五十五

（底本欠）

八百五十六

（底本欠）

八百五十七

（底本欠）

八百五十八

（底本欠）

八百五十九

（底本欠）

八百六十

（底本欠）

八百六十一

（底本欠）

八百六十二

（底本欠）

八百六十三

（底本欠）

八百六十四

（底本欠）

八百六十五

（底本欠）

八百六十六

（底本欠）

八百六十七

（底本欠）

八百六十八

（底本欠）

八百六十九

（底本欠）

八百七十

（底本欠）

八百七十一

（底本欠）

八百七十二

（底本欠）

八百七十三

（底本欠）

八百七十四

（底本欠）

八百七十五

（底本欠）

八百七十六

（底本欠）

八百七十七

（底本欠）

八百七十八

（底本欠）

八百七十九

（底本欠）

八百八十

（底本欠）

八百八十一

（底本欠）

八百八十二

（底本欠）

八百八十三

（底本欠）

八百八十四

（底本欠）

八百八十五

（底本欠）

八百八十六

（底本欠）

八百八十七

（底本欠）

八百八十八

（底本欠）

八百八十九

（底本欠）

八百九十

（底本欠）

八百九十一

（底本欠）

八百九十二

（底本欠）

八百九十三

（底本欠）

八百九十四

（底本欠）

八百九十五

（底本欠）

八百九十六

（底本欠）

八百九十七

（底本欠）

八百九十八

（底本欠）

八百九十九

（底本欠）

九百

（底本欠）

九百一

（底本欠）

九百二

（底本欠）

九百三

（底本欠）

九百四

（底本欠）

九百五

（底本欠）

九百六

（底本欠）

九百七

（底本欠）

九百八

（底本欠）

九百九

（底本欠）

九百十

（底本欠）

九百十一

（底本欠）

九百十二

（底本欠）

九百十三

（底本欠）

九百十四

（底本欠）

九百十五

（底本欠）

九百十六

（底本欠）

九百十七

（底本欠）

九百十八

（底本欠）

九百十九

（底本欠）

九百二十

（底本欠）

九百二十一

（底本欠）

九百二十二

（底本欠）

九百二十三

（底本欠）

九百二十四

（底本欠）

九百二十五

（底本欠）

九百二十六

（底本欠）

九百二十七

（底本欠）

九百二十八

（底本欠）

九百二十九

（底本欠）

九百三十

（底本欠）

九百三十一

（底本欠）

九百三十二

（底本欠）

九百三十三

（底本欠）

九百三十四

（底本欠）

九百三十五

（底本欠）

九百三十六

（底本欠）

九百三十七

（底本欠）

九百三十八

（底本欠）

九百三十九

（底本欠）

九百四十

（底本欠）

九百四十一

（底本欠）

九百四十二

（底本欠）

九百四十三

（底本欠）

九百四十四

（底本欠）

九百四十五

（底本欠）

九百四十六

（底本欠）

九百四十七

（底本欠）

九百四十八

（底本欠）

九百四十九

（底本欠）

九百五十

（底本欠）

九百五十一

（底本欠）

九百五十二

（底本欠）

九百五十三

（底本欠）

九百五十四

（底本欠）

九百五十五

（底本欠）

九百五十六

（底本欠）

九百五十七

（底本欠）

九百五十八

（底本欠）

九百五十九

（底本欠）

九百六十

（底本欠）

九百六十一

（底本欠）

九百六十二

（底本欠）

九百六十三

（底本欠）

九百六十四

（底本欠）

九百六十五

（底本欠）

九百六十六

（底本欠）

九百六十七

（底本欠）

九百六十八

（底本欠）

九百六十九

（底本欠）

九百七十

（底本欠）

九百七十一

（底本欠）

九百七十二

（底本欠）

九百七十三

（底本欠）

九百七十四

（底本欠）

九百七十五

（底本欠）

九百七十六

（底本欠）

九百七十七

（底本欠）

九百七十八

（底本欠）

九百七十九

（底本欠）

九百八十

（底本欠）

九百八十一

（底本欠）

九百八十二

（底本欠）

九百八十三

（底本欠）

九百八十四

（底本欠）

九百八十五

（底本欠）

九百八十六

（底本欠）

九百八十七

（底本欠）

九百八十八

（底本欠）

九百八十九

（底本欠）

九百九十

（底本欠）

九百九十一

（底本欠）

九百九十二

（底本欠）

九百九十三

（底本欠）

九百九十四

（底本欠）

九百九十五

（底本欠）

九百九十六

（底本欠）

九百九十七

（底本欠）

九百九十八

（底本欠）

九百九十九

（底本欠）

千

（底本欠）

千一

（底本欠）

千二

（底本欠）

千三

（底本欠）

千四

（底本欠）

千五

（底本欠）

千六

（底本欠）

千七

（底本欠）

千八

（底本欠）

千九

（底本欠）

千十

（底本欠）

千十一

（底本欠）

千十二

（底本欠）

千十三

（底本欠）

千十四

（底本欠）

千十五

（底本欠）

千十六

（底本欠）

千十七

（底本欠）

千十八

（底本欠）

千十九

（底本欠）

千二十

（底本欠）

千二十一

（底本欠）

千二十二

（底本欠）

千二十三

（底本欠）

千二十四

（底本欠）

千二十五

（底本欠）

千二十六

（底本欠）

千二十七

（底本欠）

千二十八

（底本欠）

千二十九

（底本欠）

千三十

（底本欠）

千三十一

（底本欠）

千三十二

（底本欠）

千三十三

（底本欠）

千三十四

（底本欠）

千三十五

（底本欠）

千三十六

（底本欠）

千三十七

（底本欠）

千三十八

（底本欠）

千三十九

（底本欠）

千四十

（底本欠）

千四十一

（底本欠）

千四十二

（底本欠）

千四十三

（底本欠）

千四十四

（底本欠）

千四十五

（底本欠）

千四十六

（底本欠）

千四十七

（底本欠）

千四十八

（底本欠）

千四十九

（底本欠）

千五十

（底本欠）

千五十一

（底本欠）

千五十二

（底本欠）

千五十三

（底本欠）

千五十四

（底本欠）

千五十五

（底本欠）

千五十六

（底本欠）

千五十七

（底本欠）

千五十八

（底本欠）

千五十九

（底本欠）

千六十

（底本欠）

千六十一

（底本欠）

千六十二

（底本欠）

千六十三

（底本欠）

千六十四

（底本欠）

千六十五

（底本欠）

千六十六

（底本欠）

千六十七

（底本欠）

千六十八

（底本欠）

千六十九

（底本欠）

千七十

（底本欠）

千七十一

（底本欠）

千七十二

（底本欠）

千七十三

（底本欠）

千七十四

（底本欠）

千七十五

（底本欠）

千七十六

（底本欠）

千七十七

（底本欠）

千七十八

（底本欠）

千七十九

（底本欠）

千八十

（底本欠）

千八十一

（底本欠）

千八十二

（底本欠）

千八十三

（底本欠）

千八十四

（底本欠）

千八十五

（底本欠）

千八十六

（底本欠）

千八十七

（底本欠）

千八十八

（底本欠）

千八十九

（底本欠）

千九十

（底本欠）

千九十一

（底本欠）

千九十二

（底本欠）

千九十三

（底本欠）

千九十四

（底本欠）

千九十五

（底本欠）

千九十六

（底本欠）

千九十七

（底本欠）

千九十八

（底本欠）

千九十九

（底本欠）

千百

（底本欠）

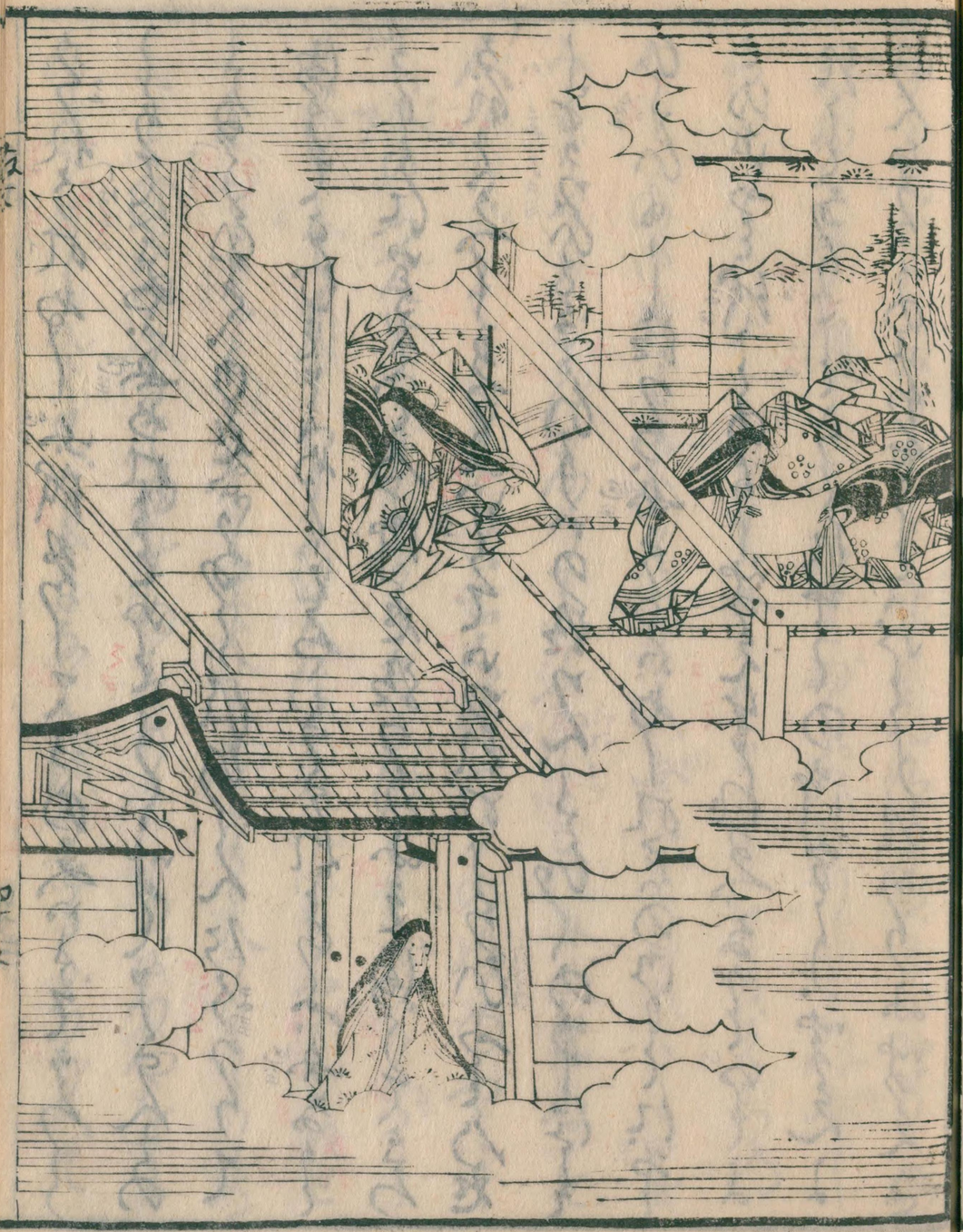
千百一

（底本欠）

千百二

（底本欠）

千百三



国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

とりて、あやと（綾）もて（十）つゝ（匹）ぜにみ（銭三）
例の（いと）寧（実忠）和尚（ワラハベ）のえ（絵）をとり（取）
給へ（へ）つゝ（ツヽ）とうれ（うれ）しく（くし）
と、もてつゝ（ツヽ）（もし）（ツヽ）
（まゐ（ハ）イ）
（まゐ）
（ま）
（ま）
（ま

秘馬ハ諸説あるが唐鞍を置く作り鞍を置くその時秘馬と
なるとも又放ち馬の
始まるとも知れず
替の馬をうつすとしつ
而あり平家物語にも
もかゝる事ありしやこれ
の事
弁内侍日記上方
うちまきのあるべし

続古事談 寒江
雪後秀平の
五六の馬を
引きて
雪の
中を
行く
人
あり
とぞ

伊勢集
あるそらに
八月
あまも
あり
とぞ

きくこゑをかくこと
もそ時なきいもを
ハハそ
信明集
神代より
雪
多
こと

禁使差

のかこうちのとをあけてうるものいれさせ
ささのはくこえたるまでおくに施まつる人々
ものいとおほうり。そらのをもしろくひかりよこ
ひかよこねやあやとつ
のさまつまるみらのくに紙あり。
けくなやみてみ給ふ
七八人ばかりまるをさうり。
うちつまてまつり給つり。
ことしなつせてみんつり。

ちて八生てみ何
古事紀 当生成国土
奉倚
皆取 あの子ども
ちれハ
ひとり

よこそぶごろをけれ海まじをゆ
豊後
そりしをこのまこひこりのう
子
ふりの紙そそりて俗うくく
生成
そくいあんてまをいつら
然
女人をうせしんきりく
たりてせいくハ父八名
そくふりの紙ふくいをくつく
ひよさ
のそうかいてあそのせを
八さ
うせ女人よあをうせたうふ
ひよさ
もあくをまこりのまこ
指置
ふりの紙そくいをくつく
庄物
まこりのまこ
御衣褪
ふりのまこ
王
をやれこいよいハ特ハ
おんさ
ふりくまれこいし
ふりくまれこいし
卿
ふりくまれこいし
安忠

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

紀神功紀
二三谷居二假廠一赤猪
忽出之登二假廠一而

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

顯帥化哀哥公　神中十四
雅叙「コヒワヒテオツルナミシノ芝ナラハチヨノ数スキヤレナヤレ
宣化元年詔曰黄金万貫不面瓊一白玉千箱
術能敵今

[illegible]
[illegible]
[illegible]

830
107

春記裏文書ニ云

注進　尊勝御修法一七箇日支度　合

五寶　金銀　瑠璃　琥珀　水精

五香　薫陸　丁子　擣柳子　天門冬

五穀　稲　大麦　小麦　大豆　胡麻

五菜　赤蓄　人参　伏苓　甘草　擣柳子

五薬　人参　伏苓　甘草　擣柳子　五穀

讃摩料　沈香　燒香料　白檀香　塗香料　乳木脅跗草　或代用楊木

安息　薫陸　丁子　擣柳子　天門冬　訶利勒　人参　柱心　伏苓

天蓋　空色　幡九流　上中一流長三丈餘黄色　八流長各八尺餘黄色

多宝塔一基　但九輪盂傳勝跋四天居車形銅薄之歟一石　八枚魚目給之可盡造又伙細工季可作

壇供能米廿一石　之内大壇七石護摩壇七石十二　天壇三石五斗雜菩薩三石五斗

御明油二斗五升三壇料

大壇一面　護摩壇一面　脇机五前　燈臺十本

大壇一面　護摩壇一面　在炉桶　十二天壇一面　閼伽桶三口　在杓　足桶

礼盤二脚　半疊三枚　壇敷布三端　大幡一帖　闕伽桶三口　在杓　足桶

二口　在杓　長横三合　阿闍梨　伴僧八口　行事一人　桑仕三人

駈使　廿六人　見丁二人　浄衣淺黄色

右注進如件

仁平三年閏十二月二日　行事大法師

和名抄　木類　棟　玉篇云棟　音凍木名　云阿布智　其子如梅実白而黏可以洗衣者也

㊟棟枝修法ニ用ふるものなり　この実又実の實なる数ふるにあたらず　不實

和名抄　菓類　胡麻　陶隠居本草注云胡麻　音五萬反　云字古未　本出大宛故以名之

和名抄　菓類　未醬　楊氏漢語抄云高麗醬　美醬今按并色甘酸故号但本義未詳　倭用味醬二字味但作未字誤

天明元年丑年九月十三日残井圖南翁之本ヲ以テ校合同月十七日ニ終ル　田中道麻呂

右安政二年六月十日校合了

夏船本
庚午七月廿八日以古写本令校了
庚午十二月十九日以疾病以遠方写本令一校了（墨書）
辛未五月廿四日以羽倉本令校合了（加藍屑名）
甲戌三月廿五日以塙本令校合了（加黄屑有也）
文久三年九月朔日以細井夏船手校本対校了　横山由清

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107
ガラス使用

830
107

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107